

出張報告書

平成 29 年度日本薬剤師会学校薬剤師部会全国担当者会議

標記の件につき下記の通り報告します。

報告者 常務理事 川村 仁

記

日 時：平成 30 年 1 月 24 日（水）13:30～16:30

場 所：日本薬剤師会第 1・2 会議室

参加者：都道府県薬剤師会学校薬剤師担当役員 別紙参照

次第

講義 1：学校薬剤師活動等に関する最近の話題

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 小出彰宏

講義 2：個人輸入禁止のスマートドラッグと医療用大麻の世界事情

東京薬科大学・前教授 安田一朗

今期の学校薬剤師部会の活動等について

日本薬剤師会学校薬剤師部会部会長 村松章伊

平成 29 年度全国学校保健調査結果（速報値）について

日本薬剤師会学校薬剤師部会副部会長 清水 大

概要

乾副会長の挨拶のあと、文部科学省小出調査官の講演があった。今回は、平成 30 年度に学校環境衛生基準の改定が予定されていることから、変更点の解説があった。

主な変更点として

1. 温度の基準：10℃以上、30℃以下→17℃以上 28℃以下が望ましい。
2. 温度、相対湿度及び気流の検査方法：装置名指定から、装置精度有する機器使用可
3. 浮遊粉じん：チョーク材質、土足教室清掃頻度見直し、道路工事による外気流入影響
4. 照度：コンピューター教室の表現方法
5. 飲料水の水質（有機物等）：過マンガン酸カリウム消費量の廃止→TOC へ
6. 机、いすの高さ：日常点検項目へ

以上の変更について本年 4 月改正するとのことであった。

次に、薬物乱用防止の観点から、個人輸入のスマートドラッグ問題、諸外国の大麻規制問題、2020 年東京オリンピックにおける海外からの大麻の国内への持ち込みが懸念されることから、今後大麻規制を強化されるのではないかとっており、薬物乱用防止活動における学校薬剤師の協力が不可欠であるとのことであった。

最後に、日薬学薬部会長から活動報告があった。その中で、従来の学校薬剤師研修会および学校環境衛生研究協議会は学校薬剤師学術フォーラムとして発展的統合し 1 年に 1 回半日程度の開催を予定する。また文部科学省へ環境衛生検査で使用する検査機器の整備是正を要望。都道府県薬剤師会宛に薬物乱用防止啓発活動への協力依頼した旨の報告。最後に、日本学校保健会から「学校における水泳プールの保健衛生管理」平成 28 年度改訂版が発行されたので、プール水の水質管理に活用して欲しいとの案内がされた。

以上をもって、本年度の研修会が終了した。

今回の研修内容は、県下の学校薬剤師へ情報提供して、学校環境衛生活動への一助となるようにしたい。この度は、出席させていただきありがとうございました。